

課題番号 : F-14-NM-1234
利用形態 : (複数の利用形態でご利用の場合は、主な形態1つを選択して記入してください。)
利用課題名(日本語) : ○○○○○○○○
Program Title (English) : ○○○○○○○○
利用者名(日本語) : △△△△¹⁾, ○○○○²⁾ (課題申請者にアンダーライン)
Username (English) : A. Aaaaa¹⁾, B. Bbbbb²⁾
所属名(日本語) : 1) ○○大学大学院○○研究科(または専攻科), 2) ○○株式会社
Affiliation (English) : 1) ○○, ○○ University, 2) ○○, Co., Ltd.

1. 概要(Summary)

技術相談の場合は、概要のみの記載でも構いません。本文のフォントはMS P明朝、CenturyならびにSymbol、サイズは10.5ポイントで記載してください。利用報告書は1ページで作成してください。収まらない場合でも、2ページ以内でお願いします。

2. 実験(Experimental)

利用した主な装置の名称と、実験方法などを記載してください。

3. 結果と考察(Results and Discussion)

図表は可能な限り記載してください。図表の **Figure caption** は英語で記載してください。

4. その他・特記事項(Others)

・参考文献、用語説明、謝辞等を必要に応じて項目を作成して記載してください。

・競争的資金名、共同研究者名とその所属を開示可能な範囲で記載してください。

・特段の記載事項がなければ、「なし。」と記載してください。

5. 論文・学会発表(Publication/Presentation)

(1) A. Aaaaa, B. Bbbbb and C. Ccccc, Journal, Vol. ○○ (2014) pp.○○-○○.

(2) ○○○○, ○○学会第○○回秋期大会, 平成26年○○月○○日(発表日).

該当がなければ、「なし。」と記載してください。

6. 関連特許(Patent)

(1) ○○○○(発明者名), “○○○○○○○(発明の名称)”, 特開○○○○○, 平成○○年○○月○○日(公開日).

公開もしくは登録となったものについて記載し、**公開前**のものは記載しないでください。該当がなければ、「なし。」と記載してください。利用者が、特許出願状況を記載することを希望する場合には、「特許出願済み」等の表現をお勧めします。

※ 留意点(本留意点は、ご確認後、枠ごと削除してください。)

- 本利用報告書は、インターネット上のホームページに公開し、ナノテクノロジープラットフォーム事業の成果報告書の一部として国会図書館に納本されます。特許出願を予定している技術内容(図面等を含む)については利用報告書に記載しないでください。
- 4. その他・特記事項では、参考文献や用語説明の他、開示可能な範囲で**競争的資金名、共同研究者名と共同研究者の所属**を記載してください。利用形態が共同研究の場合は、対応した支援組織の**技術支援者名と所属組織名**を記載してください。また技術支援者への謝辞の掲載を歓迎します。
- 6. 関連特許では、公開もしくは登録特許となったものについて記載し、公開前のものは記載しないでください。
- 2段組み部分の **70%程度以上**を記載してください。
- 斜線部分の記載を削除してご提出ください。